

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項		
1・子育て環境の充実	01-01-01 子育てと仕事の両立の支援	1	保育園の待機児童数	68人	54人	66人	77人	122人	0人	0人				4	(緑)幼・保・小の園児・児童を持つ家庭では、効果が現れていると思われる。 (黄)保育所待機児童数が増えている(他は概ね良い)。 (黄)待機児童が増えている。 (黄)保育園待機者がなかなか減らない。	やや遅れている		・現実的な目標値の設定を。				・育休をとりやすい環境を。[企業] ・利用率は、どの程度の企業等が入ったの割合なのか明確に。[指標]		
		2	放課後児童クラブ入所者数	1,111人	1,102人	1,156人	1,124人	1,090人	1,150人	1,150人	1,150人	4												
		3	特別保育実施園数	11園	11園	12園	12園	13園	15園	20園	20園	3	1											
		4	育児休暇利用率	32.8%	-	-	-	-	-	41%	50%													
	01-01-02 子育て家庭等への支援	1	育児環境が整備され、安心して子育てができると思う人の割合	58.3%	-	67.1%	-	70.6%	65%	80%	2	2			(青)順調に目標値を達成している。 (緑)指標の伸びはある(概ね順調)。	順調							・子育て家庭を対象とした調査の実施。[指標]	
	01-01-03 地域における子育て支援の推進	1	※ ファミリーサポートセンターマッチング割合	93.5%	95.1%	94.4%	95.8%	85.7%	95.0%	100%	1	3			(緑)概ね目標値は達成している。相談件数の多少では判断できない。	概ね順調							・[No.2]相談最終件数割合に。[指標]	
		2	※ 家庭児童相談最終件数	113件	89件	85件	99件	71件	前年度以上	前年度以上	2	1												
	01-01-04 幼稚園と保育園が連携した子育て環境の整備	1	※ 幼児教育振興プログラム実施幼稚園保育園数	-	-	-	-	10園	10園	全園(28園)	4													
		2	※ 公私立幼・保の教諭・保育士及び園児の小学校訪問等連携交流の実施	-	23園	24園	26園	28園	全園(29園)	全園(29園)	4													
	01-01-05 保護や支援を要する児童へのきめ細かな取り組みの推進	1	※ こども療育センターのたけのこ教室の1日当たりの平均利用者数	10.6人	-	8.6人	9.1人	7.8人	7人以上10人以下	7人以上10人以下	3													
		2	★ 児童発達支援事業(こども療育センター)の利用者の満足度	-	-	-	-	-	(後期計画反映)	(後期計画反映)						(緑)相談件数についてはよく分からないが、No.1とNo.3の指標について評価した。	概ね順調							・数値が大きくなれば良いのか、小さくなれば良いのかが分からない。[指標]
		3	※ 保育園・幼稚園等巡回訪問の1回当たりの平均対象児数	3.1人	-	3.0人	3.1人	3.3人	2人以上3人以下	2人以上3人以下	1													
		4	※ 要保護児童相談・通告件数	31件	31件	31件	30件	20件	35件	40件														
	01-01-06 母子の健康の確保及び増進	1	妊婦健診率	76.2%(H22.3)	76.2%	76.9%	76.2%	74.8%	78.0%	78.5%	3	1												
		2	乳幼児健診受診率[4カ月]	96.4%	98.0%	96.3%	97.6%	97.4%	97.5%	98.0%	2	2												
		3	乳幼児健診受診率[1歳6カ月]	97.7%	96.6%	96.1%	98.5%	98.6%	98.0%	98.5%	4					(緑)健診率は向上しているが、低体重児出生率が良くなっていない。 (緑)概ね順調(大きな下がりはないため)	概ね順調						・[No.5]件数の増加することが良いことなのか?(全て解決しているなら減っていった方が理想では) ・[No.5]件数でなく解決した割合にする。	
		4	低体重児出生率	10.4%	11.7%	12.1%	10.3%	未公表(H26年5月頃公表)	9.6%	9.1%					4									・受診しやすい環境づくりをする必要がある。[市]
		5	婦人相談件数	87件	83件	87件	79件	96件	90件	95件														

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項	
	01-02-01 介護予防の 推進と介護 サービスの 充実	1	※ 特別養護老人 ホームの待機者数	51人		85人	83人	53人	70人	65人	3					概ね順調						・介護予防教室へ積 極的に参加する(自 分の健康は自分で守 る)。[市民]①	
		2	要介護認定率	16.4%	17.06%	17.54%	17.88%	17.64%	18.0%	18.0%	3				(緑)概ね目標に近づいてい る。 (緑)数値では順調に感じる。								
		3	介護サービスに満足 している高齢者の割 合	65.2%	調査を 実施して いない	68.8%	調査を 実施して いない	調査を 実施して いない	68.6%	70.0%	1	3											
1・2 高齢者や障 がい者など の自立した 生活への支 援	01-02-02 高齢者が活 躍できる場 の確保	1	老人クラブへの加入 率	26.3%	24.1%	20.8%	19.9%	18.7%	25.5%	25.0%						やや遅れ ている	・老人クラブの指標 は、目標としている意 味合いが不明。① ・シルバースポーツ大 会の参加などが指標 になり得るのでは？ ・シルバー人材セン ターに登録しているの は一部の人だけで は？	・老人クラブ加入率 25%は低いのでは？			・施策名を「高齢者の 社会参加と両立への 支援」等に変更して は？①	・別な指標を増やして は？(地域にも活躍 の場はある)[指標] ①	
		2	生きがいを持って いる高齢者の割合	90.1%	—	75.5%	調査を 実施して いない	77.5%	90.0%	90.0%			4										
		3	シルバー人材セン ター登録者就業率	85.3%	88.9%	90.9%	90.1%	91.1%	91.8%	93.0%		4											
	01-02-03 高齢者への 生活支援の 充実	1	低所得者等への生 活費援助実人数	7人	5人	4人	2人	2人	7人	7人	2	2			(青)必要な人には援助できて いる。 (緑)対象となる人(分母)が分 からない。	概ね順調						・制度の周知が必要 [市]	
		2	在宅者介護サービス 利用者負担軽減を受 けた人の数	294人	299人	337人	378人	329人	290人	290人	3	1											
	01-02-04 障がい者の 社会参加と 自立への支 援	1	障がい者支援施設 の利用者数[日中活 動系/居住系]	403人 135人	366人 140人	410人 144人	493人 149人	524人 160人	443人 148人	463人 152人	4					(青)目標達成できている。	順調		・[No.1][No.3]目標値 を超えているので再 設定を。① ・[No.3]一般就労への 移行者「増」を目指す べき①	・障がい者を地域で 見守るしくみ作り		・就労を希望する障が い者数に対して、雇 用された人数の割合 を指標にする。[指 標]	
		2	市内企業の障がい 者雇用率	1.38%	1.59%	1.54%	1.48%	1.54%	1.60%	1.80%	3	1											
		3	福祉施設から一般就 労への移行者数	7人	6人	8人	3人	8人	7人	7人	3	1											
		4	福祉施設入所者及 び社会的入院者の 地域生活への移行 者数	5人	9人	6人	0人	3人	希望調 査により 定める数 値	希望調 査により 定める数 値													
		5	★ 障がい福祉サー ビス利用者の満足度	—	—	—	—	—	(後期計 画反映)	(後期計 画反映)													
	01-02-05 生活困窮者 への支援	1	就労支援による就労 対象者に占める就労 開始率	17.7%	14.9%	17.8%	17.0%	45.2%	19.0%	20.0%	2	2			(緑)目標達成しているようだが もっと上げたい。	概ね順調						・目標値をもっと上げ る。[目標値]	

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
1・3 健康づくりの推進と地域医療の充実	01-03-01 地域医療の充実	1	人口あたりの医師・歯科医師数	202.3人/10万人	202.3人/10万人	202.3人/10万人	202.3人/10万人	230.8人/10万人	205人/10万人	210人/10万人	3				(青)目標達成できている。	順調						・[No.4]目標値を上げる。(80%) [目標値]
		2	休日当番医院・歯科医院の診療日数	72日18日	72日18日	71日18日	71日18日	72日18日	72日20日	72日20日	3	1										
		3	中部病院の患者紹介率・逆紹介率	39%—	92%37%	82%43%	75%53%	未公表(公表日不明)	68%30%	70%30%	1	3										
		4	地域医療が充実していると思う市民の割合	48.0%	—	61.1%	—	67.8%	50.0%	55.0%	4											
	01-03-02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	1	※ 保険診療に係る保険者負担額の伸び率	-5.1%	2.96%	-0.5%	4.35%	5.49%	3.13%以下	3.13%以下				2	(黄)目標の数値と現状が離れている。(黄)低迷している感じ。	やや遅れている		・がん検診の最終目標は50%で十分か？				・受診しやすい環境づくりが必要。 ・受診率を上げる取組を。①
		2	※ メタボ対象、予備群の割合	30.5%	29.2%	26.6%	26.3%	法廷数値未決定(H25年10月公表)	25.0%	24.0%		2										
		3	各種がん検診受診率	40.4%	42.73%	41.88%	40.42%	39.77%	50.0%	50.0%			1	1								
		4	特定健診受診率	41.3%	42.4%	41.2%	41.8%	法廷数値未決定(H25年10月公表)	72.0%	75.8%				2								
	01-03-03 市民の健康づくりの推進	1	食生活改善推進員養成数	384人	373人	382人	395人	388人	450人	500人				2	(緑)数値だけを見れば目標値に近づいている。ただし、目標値の見直しが必要のところもある。① (緑)数値だけ見るとまずまず	概ね順調						・在宅で看取ることがベストとは限らないのでは？②
		2	がん患者の在宅死亡割合	22.8% [H20年分]	18.1% [H21年分]	16.6% [H22年分]	14.0% [H23年分]	18.8% [H24年分]	19.0%	20.0%		2										
		3	人口当たりの自殺率	34.8人/10万人	39.52人/10万人	43.06人/10万人	30.06人/10万人	31.07人/10万人	32人/10万人	30人/10万人		2										
		4	※ 学校給食の喫食率	90.0%	90.1%	88.2%	87.7%	87.89%	90.3%	90.5%		2										
	01-03-04 国民健康保険制度の安定運営	1	特定保健指導実施率	10.6%	9.4%	41.7%	37.5%	法廷数値未決定(H25年10月公表)	48.0%	54.0%		2			(緑)1-3-2と重複が多いが概ね良	概ね順調						・特定保健指導実施率が国保の安定にどれだけ資するのかが疑問 ・保険利用数が減って、収入が増えれば経営が安定するので分かりやすい指標が良い。
		2	※ 保険診療に係る保険者負担額の伸び率	-5.1%	2.96%	-0.5%	4.35%	5.49%	3.13%以下	3.13%以下				2								
		3	※ メタボ対象、予備群の割合	30.5%	29.2%	26.6%	26.3%	法廷数値未決定(H25年10月公表)	25.0%	24.0%		2										
		4	特定健診受診率	41.3%	42.4%	41.2%	41.8%	法廷数値未決定(H25年10月公表)	72.0%	75.8%				2								
共に支えあう地域福祉の推進	01-04-01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり	1	※ 民生委員児童委員の専門部会等研修参加率	81.8%		81.7%	84.1%	79.6%	90%	90%				3	(緑)目標に近いまたは超えている。 (緑)指標は概ね順調	概ね順調		・当事者(障がい者)が住みやすい(街)と思っているか、といった指標を追加してはどうか。				・企業の特徴を生かした支え合いのまちづくり(配達時の見守り、訪問時の声掛け等) [企業]②
		2	※ 災害時要援護者のうち地域支援者(協力者)が決まっている人の割合	76.3%		76.6%	89.5%	88.6%	95.0%	95.0%		3										
		3	障がいの特性に対応した福祉的避難所数	0か所	0か所	0か所	0か所	3か所	3か所	3か所	3											
		4	★ 社会で障がい者が理解されていると思う人の割合	—	—	50.1%	—	57.7%	(後期計画反映)	(後期計画反映)		3										
		5	福祉協力員の活動件数	108,933件	104,417件	118,314件	129,354件	126,897件	113,000件	115,000件	3											



基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
2・1 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	02-01-01 知・徳・体を育む	1	標準学力検査(NRT)における全国比(小学4年)	109	111	108	110	115	111	111	1	4			(緑)数値の変動が少なく概ね順調と思う。 (緑)概ね良い。目標に近づいている。 (緑)目標値に近づいているから。 (緑)目標値(数値)において妥当	概ね順調	・数字の変化はなく、絶対評価にすべき。 ・数値以外の評価方法は？	・NRTの目標値を上げる。			・教育内容の見直し(他縣市町村を参考に) ・NRTの具体的な数値向上の対策とは？	・学力向上のためのプロジェクトチームをつくる。[市] ・数値上の目標設定だけではなく、具体的な施策の目標設定が必要。[市] ・何を取り組んだら向上するのかといった具体的な内容が必要。[市]
		2	標準学力検査(NRT)における全国比(中学2年)	100	98	99	101	97	102	103	4	1										
		3	小学校新体力テスト優秀児童の割合	43.3%	40.79%	40.95%	40.8%	44.7%	44.0%	45.0%	2	2										
		4	※ 学校給食の喫食率	90.0%	90.1%	88.2%	87.7%	87.89%	90.3%	90.5%	2	2	1									
	02-01-02 児童生徒への支援	1	※ 奨学金の貸与決定率	100% (38人/38人)	100% (46人/46人)	100% (44人/44人)	100% (37人/37人)	100% (23人/23人)	100%	100%	4	1			(青)内容的に疑問があるが、良い方向(数値)に見える。 (緑)目標数値に近い。 (黄)数値が少ないのは良いが、問題の中身、原因の究明、説明、解決策等を重視すべきである。	概ね順調	・奨学金の指標はいらない。 ・奨学金貸与決定率の評価ではなく、本当に困っている人へ支給できているか、奨学金の申込者は実際困っている人かが問題である。	・不登校者出現率は0%が望ましい目標ではないか。	・不登校出現率ゼロに向けた家族の受け入れ、家庭のあり方の支援	・市独自の教育プログラムを構築する。 ・教委だけではなく、行政の各部署が連携して教育を考える。 ・課題を抱える家庭への支援。福祉部門との連携(生保etc)。	・教育委員会と学校職員(教員)と地域住民とが連携した不登校をなくす取組みが必要[市]①	
		2	不登校出現率(小学校)	0.17%	0.12%	0.17%	0.19%	0.23%	0.13%	0.10%	1	2	2									
		3	不登校出現率(中学校)	2.79%	2.36%	2.28%	1.71%	1.62%	2.20%	2.10%	4		1									
	02-01-03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実	1	市内での大学ゼミ開催件数	0件	1件	2件	6件	1件	2件	3件		5			(黄)逆に減っているように見える。 (黄)市民のボランティアが多い。 (黄)スクールガード、放課後ボランティア等の人数が多いのは当然だが協力する層と家族協力度合の問題である。 (赤)児童・生徒に携わる大人が少ない。	やや遅れている	・図書館ボランティア人数よりボランティアに対する支援の具体的な取組が見えない。	・児童数、生徒数が全体で減っているのに目標値のみ増加は相対的バランスを保っているのか？ ・子供教室が減っているからボランティアも減るのでは？	・スクールガード人数の相対的増加数ではなく多種多様な確実な人数の配置が必要である。 ・ボランティアへの参加。	・取り組みのテーマに関わらず、学社連携が進む環境づくりに取り組む。 ・小-大連携を考えては？ ・スクールガード数の目標値が本当に目指す姿の数ならば、目標値に近づけるための方策(これまでの手段の変更)が必要。	・学校活動への積極的な参加[市民] ・地域全体で子供を育てる意識の向上[市民]① ・放課後子ども教室を必要とする子供の数と必要な設備の指標[指標]	
		2	学校図書館ボランティアの人数	254人	242人	225人	230人	218人	270人	280人	1		4									
		3	小学校におけるスクールガードの人数	887人	679人	543人	481人	499人	950人	1,000人			2	4								
		4	小中学生向けものづくり人材育成事業受講者数	1,135人	644人	943人	1,047人	946人	1,200人	1,250人			2	2								
		5	※ 放課後子ども教室のボランティア人数	100人	92人	104人	60人	56人	100人	100人			2	3								
		6	※ 児童の学校図書平均年間貸出数	40.3冊	51.4冊	52.3冊	54.7冊	59.8冊	-	-	2	3										
		7	※ 家庭学習時間平均1時間以上の割合(6年生)	57.0% [H21]	57.0%	-	震災により未集計	68.6%	62.0% [H29]	67.0% [H32]	4	1										
	02-01-04 教育環境の整備	1	★ 学校施設に対する満足度	-	-	-	-	-	(後期計画反映)	(後期計画反映)					(赤)教育設備が遅れている。 (赤)重要度が低く考えられているように見える(変化なし)。 (赤)評価項目に課題あり。 (赤)教育環境の整備はパソコン台数、蔵書数、地場産野菜利用率の分類だけを見ての評価が妥当なのか？	遅れている	・パソコン設置台数ではなくても、電子黒板等大きな画面の設置での教育環境も必要では？ ・パソコンの使い方を変えるための指標か？ ・古くても台数だけでよいのか？ ・地元の野菜についての食育(教育)はあるのか？	・図書蔵書の目標値が低い。	・学校図書は、書物の種類を考慮して入庫させる。 ・学校給食は、食育の視点で、健康分野、産業(農業、産業間連携)分野とも連携が必要。③ ・ITのリスク(違法サイトの教育など)ソフト対策の充実化。	・蔵書数の向上のため市民から地域の図書館へ本のプレゼント運動を！[市民] ・図書の蔵書は目標を高くすべき。[目標値]①		
		2	教育用パソコン1台当児童生徒数[小・中]	9.5人 7.9人	9.63人 7.43人	9.58人 7.40人	9.94人 7.53人	9.82人 7.53人	9.0人 7.0人	6.1人 5.0人			5									
3		学校図書館蔵書標準達成校数[小・中]	3校 0校	2校 0校	2校 0校	2校 0校	3校 0校	5校 2校	7校 3校			5										
4		地場産野菜利用率(学校給食)	26.1%	33.4%	29.7%	27.9%	20.28%	35.0%	40.0%			5										

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
2・2 社会教育の充実	02-02-01 生涯を通じた学習機会の充実	1	※ 北上市民大学受講者数	878人	1,000人	916人	790人	679人	900人	1,000人			2	3	(緑)概ね良好 (緑)良好 (緑)良好と見える。 (緑)この3つの指標の数字で評価すれば総体的に良好と思われる。	概ね順調	・現在の指標の他に新たな指標を設定し、それに向けた施策が必要。 ・新しい指標名設定も加える事。					・もっとネットなどを使って利用しやすくするべき！[市]②
		2	交流センター生涯学習事業参加者数	67,709人	63,288人	61,181人	61,361人	66,701人	69,000人	70,000人	4											
		3	生涯学習まちづくり出前講座参加者数	9,227人	8,686人	9,378人	12,065人	16,988人	9,400人	9,500人	5											
	02-02-02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進	1	※ 自治公民館生涯学習事業参加者数	169,877人 (1館当たり671.45人) [H22]	-	169,877人 (1館当たり671.45人)	183,006人 (1館当たり723.34人)	未集計 (H25、8月)	190,000人 (1館当たり750.99人)	195,000人 (1館当たり770.75人)	5				(緑)概ね良好 (緑)良好に見える。 (緑)良好 (黄)大概良好ではあるが、利用者数と施設維持管理費用も評価もすべきである。	概ね順調	・[No.2]目標値を上回っているので目標値の修正を。					・地域の教育力向上の目標値を変える。 [目標値] ・市民への負担を強いての自治公民館行事への参加者数の増だけで「いきいきした地域社会づくり〜」では疑問がある。(ある一地域での公民館維持予算の低下から)[市民]①
		2	※ 地域の教育力向上に係る事業数	-	-	-	-	55事業	33事業	41事業	1	1										
	02-02-03 社会教育機能の充実	1	※ 図書館入館者数	356,686	341,567人	324,277人	284,426人	336,703人	330,000人	350,000人	3	2			(緑)図書館は概ね良好。 (黄)施設利用者が気になる。 (黄)施設の将来が不安である。 (黄)利用者数は多いが図書館と自宅からの移行だけという利用目的も考慮すべき。評価も考えるべきである。①	概ね順調 (図書館) やや遅れている (博物館)	・総合計画書にある「基本的な生活習慣を身につける運動を実践して児童・生徒の割合」の指標がなくなくなったのはなぜか？①	・学生数と老人の利用数の増加が社会教育機能の充実ではない。①				・図書館、博物館、鬼の館は線引きする。 [指標]① ・文化施設は維持しているだけでも評価できる。[市]①
			2	市民一人当たりの図書貸出冊数	5.5冊	5.34冊	4.73冊	4.49冊	4.76冊	5.8冊	6.0冊	3	2									
			3	★ 図書館利用者の満足度	-	-	-	-	(後期計画反映)	(後期計画反映)												
			4	教育文化施設の利用者数(博物館)	25,729人	26,007人	23,699人	14,524人	23,333人	26,000人	26,000人	2	3									
			5	教育文化施設の利用者数(鬼の館)	22,838人	21,787人	22,236人	15,268人	18,546人	24,000人	25,000人			3					2			
基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
2・3 スポーツの振興	02-03-01 スポーツを通じた健康づくり	1	体育施設・学校開放利用回数(市民1人当)	7.8回	7.3回	8.3回	7.3回	8.1回	8.2回	8.6回	5				(黄)指標・目標値の見直しも必要と思われる。 (黄)市民の健康を延べ人数の利用者数での評価で良いのか。	遅れている					・競技スポーツ人口の増加を目指すのか、健康づくりのためのスポーツ人口の増加を目指すのか、それによって対策が異なるので、そこを明らかにした上で健康福祉分野との連携を強化 [市]① ・幅広い層の市民が参加できる企画立案を進める。[市]①	
		2	週1回以上スポーツ・運動を行っている人の割合	-	-	20.6%	-	25.4%	50%以上	50%以上			1	3								
	02-03-02 競技力向上への支援	1	岩手県民体育大会の入賞数(個人・団体/4位以内)	77	82	100	116	120	85	95	5				(緑)概ね良好 (緑)概ね良好 (黄)競技力向上への支援としての数値は良いが、支援者の中身・指導者がどんな人かを評価することも大事ではないか。	概ね順調					・岩手国体へ向けての取組み強化[市]① ・合宿数の目標を達成するためには、スポーツ分野での取り組みだけでなく、市全体のコンベンションの一つとして観光と連携するべきではないか。[市]①	
		2	国体出場数	35人	33人	24人	30人	30人	40人	50人			5									
		3	スポーツ少年団登録者率	35.0%	35.9%	35.3%	36.4%	34.7%	40.0%	40.0%	2	3										
		4	スポーツ合宿数	1	3	1	0	0	3	5	2	3										

基本 施策	施策	No.	指標名	H20	H21	H22	H23	H24	中間	最終	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項		
				[基準]					(H25)	(H27)														
02-03-03 スポーツ環境の整備・ 充実		1	スポーツ情報提供数	6件	6件	12件	23件	15件	40件	40件				5	(黄)情報提供に努力すべき。 (黄)指標・目標値の見直しが 必要と思う(指標の内容等)。 (黄)情報と利用者数は分離す べき。情報提供の基準がわか らない。	概ね順調						・使える人が使える環 境づくりが必要である。 ・スポーツ情報をちゃ んと発信すべき。 ・情報提供ツールを もっと活用して、積極 的なスポーツ情報発 信を。	・「スポーツ情報提供 数」がどんなことを いつているか分から ない。明確にすること。 [指標]② ・施設数、利用者数に 限界があり目標値設 定に矛盾がある。[目 標値] ・稼働率か人数か。	
		2	体育施設の利用者 数	492,075 人	502,427 人	533,443 人	576,816 人	531,316 人	510,000 人	540,000 人	4	2												
		3	★ スポーツ環境に 満足している人の割 合	-	-	59.8%	-	64.7%	(後期計 画反映)	(後期計 画反映)														
2・4 芸術文化の振興・国際交流の推進	02-04-01 芸術文化活 動の推進	1	市民芸術祭の参加 者数(出演者、出品 者等)	5,797人	6,034人	4,964人	6,341人	8704	6,800人	7,000人	5				(黄)指標の内容に疑問が残る が…。① (黄)詩歌文学館を継続していく ための評価は数字だけではない。 (黄)利用者数は市民と市民以 外との区別が必要。	やや遅れ ている					・市民とそれ以外の利 用とのカウントが必要。 (さくらホール) ・利用者数と稼働率と の相対評価が必要。 (さくらホール) ・「芸術文化活動の推 進」に対する指標とし てこれでいいのか疑 問。 ・さくらホールでどん な活動やイベントが あったのか、その数を 知りたい。	・文学館については、 市の税を投入してい るからには、市民に とってこの施設がど のような利益をもたら すのかを今一度考えて 運営すべき。	・詩歌文学館につい て図書館と併せて今 後のあり方を考える。 [市] ・詩歌文学館の活用 策、利用者増加策の 検討、実施。[市]②	
		2	詩歌文学館の利用 者数	37,325人	39,971人	35,686人	30,734人	27330	39,000人	41,000人			3	1										
		3	詩歌文学館のレファ レンス利用数	400件	343件	390件	377件	295件	400件	420件				4										
		4	さくらホールの利用 者数	261,419 人	267,851 人	270,186 人	279,432 人	284498	268,000 人	275,000 人	4	1												
	02-04-02 ふるさとの文 化財と伝統 文化の継承		1	民俗芸能団体連合 会への登録団体数	78団体	76団体	73団体	72団体	66団体	78団体	78団体				5	(緑)概ね良好 (緑)先が気になるが良好と思 える。 (黄)民俗芸能は後継者を考え た場合、問題があるが継続して いくことが大事である。	概ね順調					・現状維持している実 態が見えない。 ・[No.1・3]維持、保存 していることだけで評 価できる。	・市民と市との組織実 態関係が分かれば、 継承される方法が解 明できるのではない か。	・民俗芸能の継承は 難しく、今後団体数の 減少が予想される。 無形文化財としての 保存について指標を 追加してはどうか。 [指標]① ・継承や維持が難し い芸能や文化の保存 や現状維持の取組み だけでなく、記録をす る取組みに力を入れ ることも必要。[市]
			2	民俗芸能を発表する 機会の数	32回	39回	49回	51回	64回	52回	54回	2	2	1										
			3	指定文化財件数	158件	158件	160件	160件	160件	163件	168件				5									
	02-04-03 国際化に対 応したまちづ くりの推進		1	国際交流ボランティ ア数	114件	112件	95件	76件	100件	110件	130件				4	(緑)概ね良好 (緑)全体数字として概ね良好。 (緑)具体的評価は少し考える べき。 (黄)全体は概ね順調だが力を 入れている感じがしない。	概ね順調					・指標名と実績値の 単位が整合してい ない。 ・[No.1]「～ボランティ ア数」という指標に 対して実績値の「件」と いう単位はおかしい。 ・[No.3][No.4]「～日 数」という指標名に 対して実績値の「回」と いう単位はおかしい。	・国際交流都市として 国際交流の活性化 (行動する国際交流 文化を)① ・国際化に対応する 人材育成を！(英語 弁論大会への参加者 増など)①	・公共施設の外国語 案内表記は、予算が 付けば一度に大きく 進むと思う。できる ことからの取組みに期 待。民間との連携も 検討を。[市]①
			2	公共施設案内板等 における外国語案内 表記率	1%以下	1%以下	1%以下	1%以下	1%以下	5.0%	10.0%				5									
			3	学校教育における国 際理解教育日数(小 学校)	175回	346回	345回	360回	311回	350回	350回				5									
			4	学校教育における国 際理解教育日数(中 学校)	147回	177回	182回	163回	157回	180回	200回			3	2									

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項										
産業間 連携の 促進	03-01-01 次世代につ ながる産業 間連携の促 進	1	農楽工業クラブ加盟 数(商工業等事業者 数)	33社	71社	84社	85社	86社	50社	55社	4				(青)産業間の連携が機能して 出店数・参加企業が増加してい る。 (緑)概ね順調だが新規事業の 創出が遅れている。 (黄)新技術・新製品の開発で 遅れがあり、全体的には遅れと 判断する。 (黄)新技術・新製品の開発部 分についてトータル的にやや遅 れている。	やや遅れ ている						・6次産業化、農商工 連携の取り組み数 (累計)を新たな指標 に取り入れる。[指 標]										
		2	特産品取扱店舗数 (北上コロッケ、桑 茶)	46店舗 (コロッケ 21+桑茶 25)	109店舗 (コロッケ 29+桑茶 80)	135店舗 (コロッケ 45+桑茶 90)	249店舗 (コロッケ 29+桑茶 220)	249店舗 (コロッケ 36+桑茶 250)	70店舗(コ ロッケ31 +桑茶 40)	81店舗(コ ロッケ35 +桑茶 46)	4																					
		3	産業高度化支援によ る新規事業等創出件 数	1件	4件	0件	0件	1件	5件	10件				2									2									
		4	産学連携による新技 術・新製品開発件数	0件	2件	2件	1件	1件	3件	5件				4																		
基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項										
3・2 活気ある 商工業と 観光の振 興	03-02-01 技術力・経 営力強化へ の支援	1	※ 金型技術研究セ ンターにおける技術 相談件数	18件	20件	25件	14件	21件	21件	23件	3	1			(赤)新技術関係での結果が良 くないので更に取組の強化が 必要と思う。 (赤)企業が必要としていない。 (赤)新技術等の成果が乏し い。 (赤)実績に比べ目標数字が高 いのでは？	遅れてい る		・研究に取り組んだ件 数を指標にする。	・[No.2]目標値を見直 し。	・市と企業のコミュニ ケーションが必要	・産業おこしは「人づく り」から！創業、起業 などに向けた研修機 会を増やす。	・研究に取り組んだ件 数の指標を追加[指 標]①										
		2	産業高度化支援によ る受発注成立件数	1件	7件	2件	5件	0件	10件	20件				4																		
		3	産学連携による新技 術・新製品開発件数	0件	2件	2件	1件	1件	3件	5件													4									
	03-02-02 足腰の強い 地域産業構 造の構築		1	工業製造品出荷額 等	4,955億 円 [H20年 分]	3,640億 円 [H21年 分]	4,304億 円 [H22年 分]	H25.8月 頃に公表	H25.10 月頃に 公表	5,300億 円	5,500億 円		2	2		(緑)優良企業が多い。企業の 努力が感じられる。 (緑)誘致は順調だが地域企業 への経済効果が遅れている。 (緑)誘致企業の数の増により 求人数増につながる。 (黄)遅れている項目がある。	概ね順調					・特に半導体や医 療分野は大いに期待 される分野なので、努 力してもらう[市民] [企業]										
			2	北上公共職業安定 所新卒者(高卒者) 自所受求人数	392人	209人	197人	272人	359人	350人	350人		4																			
			3	誘致企業の数[累 計]	191社	192社	196社	200社	206社	203社	210社	3	1																			
			4	地域企業の自動車・ 半導体・医療分野へ の新規参入件数	0件	0件	0件	0件	0件	3件	5件												4									
	03-02-03 活気ある商 工業の振興		1	※ 中心商店街周辺 有料駐車場年間利 用台数	110万台	106万台	103万台	107万台	112万台	110万台	113万台	4				(青)各項目目標値をクリアーし ている。 (青)目標へ順調に推移してい る。 (青)目標数字まで推移してい る。 (緑)数値の変動が分かりづら い。	順調		・目標値と実績値の みを見ると順調に見 えるが、実際のところ 本当に順調だろうか。				・数値目標が分かり やすい指標にする。 [指標]① ・業種別店舗数の指 標を追加[指標]									
			2	中心市街地歩行者 数	1,939人	1,892人	2,213人	1,805人	1,993人	2,100人	2,300人	3		1																		
			3	市内の商業施設で 主に買い物をする市 民の割合	93.8%	93.8%	93.8%	93.8%	93.8%	94.4%	95.0%	3	1																			
			4	市内卸・小売の年間 商品販売額	2,305億 円	2,305億 円	2,305億 円	2,305億 円	2,305億 円	2,400億 円	2,500億 円	2	2																			
	03-02-04 地域資源を 活かした観 光の振興		1	年間観光客数	1,629千 人	1,617千 人	1,588千 人	1,039千 人	1,272千 人	1,873千 人	1,957千 人				4	(黄)他の市町村と比べて観光 資源が少ない。 (赤)観光客数・宿泊数共に減 少傾向にある。 (赤)観光客の減少が著しい。 (赤)アピール観光地がないの では？	遅れてい る					・海外からの観光客を 呼ぶようにする。 ・西和賀町と連携し て、観光の流れを構 築する。 ・観光関係のNPOが 複数できているのに、 市と市外の観光施策 の役割分担がうまく できていない。										
2			観光宿泊者数	186千人	186千人	165千人	97千人	114千人	202千人	216千人				4																		
3			産業観光客数	30千人	22千人	22千人	16千人	28千人	50千人	60千人				1	3																	
4			★ 観光客リピー ターの割合	-	-	-	-	-	(後期計 画反映)	(後期計 画反映)																						
5			特産品取扱店舗数 (北上コロッケ、桑 茶)	46店舗(コ ロッケ21+ 桑茶25)	109店舗 (コロッケ 29+桑茶 80)	135店舗 (コロッケ 45+桑茶 90)	249店舗(コ ロッケ29+ 桑茶220)	249店舗(コ ロッケ36+ 桑茶250)	70店舗(コ ロッケ31+ 桑茶40)	81店舗(コ ロッケ35+ 桑茶46)	4																					

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項	
3・3 魅力ある農林業の振興	03-03-01 農業の生産性向上	1	ほ場整備率	79.2%	79.2%	80.0%	80.0%(H22.3)	80.0%(H23.3)	80.9%	81.9%	1	2			(緑)関係機関の技術指導等の結果と思う(県、市、JA)。(緑)概ね順調に推移している。(緑)行政等関係機関の取組が重要。(黄)数値での評価が難しい。	概ね順調	・指標を削除してもよい。(水稲直播面積)	・「No.3」制度が変わっているため目標値を変える。				・TPPとの兼合いから生産性向上の分析を分かりやすく示す指標が必要である。[指標]	
		2	水稲直播面積	26.3ha	33.6ha	67.9ha	91.1ha	99.3ha	35ha	40ha	3	1											
		3	担い手への農地集積率	56.2%	53.6%	54.7%	55.1%	50.4%	61.0%	62.0%		3		1									
		4	※ 野菜等重点作目の転作田栽培面積	153ha	152ha	149ha	145ha	120ha	148ha	153ha	2	1	1										
	03-03-02 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓	1	農畜産物関係商標登録数	2件	2件	2件	2件	2件	3件	3件	1	2	1		(緑)市場・消費者へトップセールスが必要ではないか。(黄)生産者・グループへのアピールが不足。(黄)風評被害の影響もあると思うが更に努力が必要。(黄)高付加価値化の成果は見えにくい。	やや遅れている				・トップセールス(市長)	・生産した中の上物(A4、A5等格付けの高い物)の率を指標にする。[指標]		
		2	主要産地直売所販売額(年額)	259,027千円	281,984千円	270,822千円	283,693千円	258,684千円	300,000千円	310,000千円			4										
		3	※ 農協出荷している二子さといもの販売金額	83,840千円(1農家当たり583千円)		73,646千円(1農家当たり614千円)	76,233千円(1農家当たり636千円)	62,516千円(1農家当たり563千円)	83,000千円(1農家当たり683千円)	90,000千円(1農家当たり730千円)			3	1									
		4	※ きたかみ牛該当頭数	398頭		408頭	407頭	476頭	410頭	415頭	3	1											
	03-03-03 地産地消の推進	1	きたかみ農楽校修了生数(会員数)	64人 [H21.3]	94人	117人	134人	152人	154人	184人	4				(黄)生産者と消費者側のすり合わせをする(学校給食)。(黄)地産地消が進んでいない。①(黄)学校給食への利用率と産直は取組方で改善できるのではないかと?②(黄)行政・JA・学校とのヒアリングをもってよいと思う。	やや遅れている				・消費者が定期購入できる仕組みがあると良い。インターネット等。・産直共同センターと加工施設をつくる。ここから学校給食へ。①	・地産地消推進の店舗など北上市の食べ物が食べられる店の拡大・宣伝が必要。	・(学校給食)加工センターが市内にあれば良い。[市]① ・きたかみ農学校への指標を削除してもよい。[指標]①	
		2	★ 市内産の農産物を進んで購入しようとする人の割合	-	-	71.6%	-	77.8%	(後期計画反映)	(後期計画反映)		2											
		3	地場産野菜利用率(学校給食)	26.1%	33.4%	29.7%	27.9%	20.28%	35.0%	40.0%				4									
		4	主要産地直売所販売額(年額)	259,027千円	281,984千円	270,822千円	283,693千円	258,684千円	300,000千円	310,000千円				4									
	03-03-04 環境保全型農業の推進	1	特別栽培米作付面積(減農薬・減化学肥料による水稲栽培)	186ha	186ha	178ha	173ha	112ha	205ha	210ha	2	2			(緑)遅れている項目もあるが、概ね順調である。(緑)概ね順調(緑)環境保全の意識が高まっている。(緑)概ね順調に推移していると思う。	概ね順調	・施策と評価の関連性を確認し再検討。(農地・水保全活動組織)		・野菜しんこうをもっと取り組む		・施策と評価の関連性を確認し再検討、見直し。[指標]		
		2	農地・水保全活動組織	28組織	28組織	28組織	28組織	24組織	26組織	26組織		4											
		3	有機堆肥投入量	1,630.3t	1412.0t	1639.4t	1,313.6t	1,351.5t	2,000t	2,000t			1	3									
		4	農業用廃プラスチック回収量	75t	75.2t	80t	96t	67t	80t	80t	1	3											
03-03-05 魅力あふれる農山村の確立	1	農業体験参加者数	135人	81人	44人	28人	24人	120人	120人			1	3	(黄)農業体験の参加者の減少が著しい。(黄)遅れている項目が2項目有るので再度確認が必要。(赤)市のグリーンツーリズムの取組が見えない。(赤)農山村側からの要望をもう一度聞く必要があるのでは。①	遅れている					・観光農業に(収穫体験、グリーンツーリズム)力を入れる。[市]② ・北上市には道の駅がない。①			
	2	耕作放棄地面積	31ha	31ha	47ha	29.9ha	23.2ha	31ha	31ha	1	2	1											
	3	中山間地域交流取組組織数	3組織	4組織	4組織	4組織	4組織	5組織	6組織	1	3												
	4	中山間地域市民農園設置箇所数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0か所	2箇所	2箇所				4										
03-03-06 森林資源の保全と多様な価値の活用	1	森林面積	25,010ha (H20.3)	25,010ha (H20.3)	25,010ha (H20.3)	25,020 (H22.3)	25,019 (H23.3)	25,010ha	25,010ha	1				(赤)森林保全関係のイベントが見えない。①(赤)除間伐面と害虫防除遅れている。	遅れている	・特殊要因には証明が必要。・指標名にイベント名、事業名を入れるとより分かりやすい。①		・行政観光農業(グリーンツーリズム)に力を入れる。(収穫体験)	・林業を生業にしている人がほとんどいないので仕方がないのかもしれないが、市の林業施策がなさすぎる。	・必要な面積に対しての割合の指標を[指標]①			
	2	人工造林面積	7,990ha (H20.3)	7,990ha (H20.3)	7,990ha (H20.3)	7,999ha (H22.3)	7,999ha (H23.3)	8,020ha	8,040ha		1	1											
	3	森林保全及び緑化推進関係イベント参加者数	830人	950人	1,425人	746人	860人	930人	1,000人		1		1										
	4	※ 除間伐面積	56.5ha	116.4ha	81.5ha	84.5ha	42.8ha	85.0ha	95.0ha				2										
	5	※ 森林病虫害防除面積	1,279㎡	1,525㎡ (1,235㎡)	1,812㎡ (1,146㎡)	1,954㎡ (1,019㎡)	1,121㎡	1,200㎡	1,200㎡				1								1		

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項	
3・4 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	03-04-01 雇用環境の 向上	1	北上管内新卒者の 当市及び近隣市町 への就職内定率	77.5%	51.23%	56.03%	62.58%	61.16%	78.0%	80.0%	1	1			(緑)企業の雇用が改善していると思う。 (青)紹介マッチング数の改善 以外は順調	概ね順調				・正社員率の公表	・無料職業紹介所の ホームページがある が、あまり知られてい ないので、広報等で 周知、紹介する。	・北上市無料職業紹 介マッチング数を累 計数ではなく単年の 数に表示を変更。[指 標]	
		2	北上市無料職業紹 介マッチング数	0件	1件	3件	1件	1件	6件	10件			1	1									
		3	市内企業の障がい 者雇用率	1.38%	1.59%	1.54%	1.48%	1.54%	1.60%	1.80%	1	1											
		4	北上公共職業安定 所新卒者(高卒者) 自所受求人数	392人	209人	197人	272人	359人	350人	350人		2											
	03-04-02 ものづくり人 材の育成	1	職業訓練施設等 での資格取得者延べ 人数	424人	373人	461人	470人	750人	500人	550人	2				(緑)就職率が改善してきていると思う。	順調						・[No.3・5・6]従業員中 のパーセント表示の 指標に変えたほうが よい。[指標]	
		2	北上高等職業訓練 校の離転職者訓練 受講者の就職率	63.0%	61.0%	44.8%	74.5%	67.7%	65.0%	70.0%	1	1											
		3	技能検定合格者の 延べ人数	165人	134人	128人	98人	85人	170人	180人		1		1									
		4	コンピュータアカデ ミーの就職率	86.4%	97.6%	92.8%	94.8%	97.8%	91.0%	100.0%	1	1											
		5	小中学生向けものづ くり人材育成事業受 講者数	1,135人	644人	943人	1,047人	946人	1,200人	1,250人		1		1									
		6	ものづくり人材育成 事業の受講者数(在 職者向け)	712人	708人	552人	335人	352人	780人	850人		1		1									
	03-04-03 勤労者の福 利厚生の実 現	1	勤労者福祉施設利 用者数(3施設)	76,299人	84,531人	82,453人	81,302人	101,847 人	84,000人	85,000人	1	1			(赤)目標値に近いのでよい。 (緑)順調に推移している。	概ね順調						・パートタイマーへの 福祉サービスを充実 させると会員も増える のではないかと。[企 業]②	
		2	勤労者福祉サービ スセンター会員数	2,233人	2,234人	2,299人	2,256人	2,229人	2,700人	3,000人		2											
	03-04-04 農林業の担 い手等人材 の育成支援	1	新規就農者数	10人	12人	11人	15人	15人	15人	15人	15人		2		(赤)目標値に近いのでよい。 (緑)関係機関の指導結果によ る	概ね順調						・無料職業紹介所の ホームページがある が、あまり知られてい ないので、広報等で 周知、紹介する。	・目標設定を高める。 [目標値]①
		2	集落営農組織数	20組織	20組織	21組織	21組織	23組織	23組織	25組織		2											
		3	農業生産法人数	16法人	17法人	17法人	18法人	20法人	20法人	22法人		2											

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
4・1 地球環境保全の推進	04-01-01 豊かな自然環境の保全	1	水生生物調査による水質階級Ⅰ(きれいな水)の河川の割合	62.5%	83.3%	75.0%	90.0%	75.0%	75.0%	88.0%		4			(緑)指標が概ね中間目標を超えている&近づいている。 (緑)森林が活用されないことにより守られている。 (緑)満足している市民の割合が高いということは評価に値する。 (緑)水質調査、意欲調査で具体的な目標値がクリアされている。	概ね順調	・環境学習の受講者数を数だけでなく年代別(青・壮年)に表わせばいいが...	・環境学習講座受講者数 370名→500名くらい市の取組みが改善されれば可能では？	・山林の活用。きのこ採り等(産直へに出荷)。	・『環境報告会』の地域判を拡げるようにする。 ・学校が主体的に環境学習を行うために営業する。① ・里山の復元。山間部の休耕田の周辺の整備(補助)。	・山林・里山でのレクリエーションの開催(市民の目を向ける)[市民][企業][市]②	
		2	環境学習講座受講者数	185名	207名	228名	218名	278名	300名	370名		2	2									
		3	自然環境に満足している市民の割合	77.9%	—	83.7%	—	84.5%	82.0%	85.0%		2	2									
		4	森林面積	25,010ha(H20.3)	25,010ha(H20.3)	25,010ha(H20.3)	25,020(H22.3)	25,019(H23.3)	25,010ha	25,010ha		3	1									
	04-01-02 環境監視体制の強化と公害の防止	1	大気汚染物質に係る環境基準適合率	100%	100%	100%	100%	96.2%	100%	100%		3	1		(緑)多くの指標が概ね満足できるものと思う。 (緑)基準遵守率[No.3]が微減であるが市民満足度がUPしている。 (緑)目標値が概ね達成されている。 (緑)市民の環境に対する意識が高まっている。	概ね順調	・市民の割合H24で69.7%なので最終目標を上げる。本来の目標は100%を目標すべき。			・現在の環境に慣れっこになっており、少々のは我慢しているのではないかとにかく声を上げよう。[市民]		
		2	河川・ダムの水質に係る環境基準適合率	95%	95%	95%	100%	県データ未公表	98%	100%		4										
		3	環境保全協定締結事業所の協定基準遵守率	95%	95%	98%	94%	94%	100%	100%		3	1									
		4	地区の環境で騒音・振動・悪臭等の状況が良いと感じている市民の割合	58.2%	—	68.3%	—	69.7%	65.0%	70.0%		3	1									
	04-01-03 地球温暖化防止対策の推進	1	総二酸化炭素排出量	1,487千t[H17]	—	—	—	—	1,410千t	1,257千t				3	1	(青)太陽光発電施設が急速に進展してきた。 (緑)太陽光&低公害車UP=二酸化炭素は減っていくだろうから。 (黄)二酸化炭素の排出量は地球規模の問題なのに、数値が示されないのは問題で、意識が低い。 (黄)二酸化炭素が県のデータに頼らないで測定すべきでは？	概ね順調	・太陽光発電量は、メガソーラーや各家庭での設置により目標値を上げた方がよい。 ・太陽光発電量1,000万kwh ・低公害車導入目標値を上げる。 ・既に目標値をクリアしているのだからもっと目標値を上げてみては？(太陽光)	・市が独自に二酸化炭素排出量を算出して公表する。①	・[No.2]kWhから世帯表示で分かりやすい指標にする。[指標]①		
		2	太陽光発電量	181.6万kWh	226.7万kWh	304.6万kWh	374.3万kWh	463.8万kWh	376.6万kWh	542.3万kWh		4										
		3	低公害車導入台数	360台	252台	888台	1,320台	1,834台	750台	1,070台		4										
		4	環境学習講座受講者数	185名	207名	228名	218名	278名	300名	370名		4										
基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
4・2 資源循環型社会の形成	04-02-01 ごみの不適正排出・不法投棄の防止	1	不法投棄処理量	9.23t	10.68t	9.70t	17.26t	8.28t	5t	3t			2	2	(黄)不法投棄がなかなか減っていない。「5t」にほど遠い。 (黄)ごみに対する意識と実行との差がある。(伴わない) (黄)清潔だと思ふ人の割合以上に個人の感じ方の程度に差が出る問題と思う。 (赤)ゴミを出せる場所、時間帯にも問題があるのでは？	やや遅れている	・処理量の指標を不法投棄の件数を減の指標にしては？		・不法投棄防止と投棄者の追及の強化(パトロールと警察の応援)③	・ゴミステーションの活用をもっと周知させる。 ・草刈りボランティアを組織する。①	・不法投棄を減らすために、ゴミ処理機能の強化やゴミの受け入れを簡単にすることも必要。[市]	
		2	集合住宅集積所設置率	35.7%	42.6%	47.1%	52.2%	52.4%	70.0%	80.0%			1	3								
		3	清潔なまちであると思ふ市民の割合	64.5%	—	60.6%	—	68.0%	68.0%	70.0%		2	2	1								
	04-02-02 ごみの発生抑制	1	ごみ総排出量	27,645t	24,391t	24,202t	25,792t	25,622t	23,500t	23,000t			3	2	(黄)まだまだ抑制目標への到達度が低い。 (黄)ごみは減らない。分別も苦労だということか。 (黄)ゴミの仕分け分別の個人レベルでの意識が低い。 (赤)1人当たりのごみ排出の減少率が低いし、リサイクル率も伸び悩んでいる。	やや遅れている	・ゴミ排出量の目標を上げる。①	・田舎道の道端の草刈りを地域で取り組もう。 ・小さな紙切れも資源ごみだという認識をもつ。	・ゴミ集積所の増設。	・ごみの発生抑制について、地域ごとに話合場を設ける。意識的に呼びかける。[市民]		
		2	※ 一人1日当たりのごみ排出量(家庭系ごみ)	556g	486g	475g	502g	492g	460g	450g			2	2								
		3	リサイクル率	23.5%	24.7%	23.5%	23.5%	22.7%	26.7%	27.5%			1	3								
		4	一人1日当たりのごみ排出量	806g	717g	712g	755g	746g	680g	660g				4								

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項	
4・3 安全・安心な地域社会の構築	04-03-01 総合的な防災対策の推進	1	自主防災組織における防災訓練等の実施率	10%	22%	38%	43%	45%	70%	100%			3	1	(黄)自主防災組織訓練、最終目標の半分にも至っていない。 (黄)震災を経験したのに、もっと目標値に近づいていると思った。 (黄)自主防災組織の訓練と、障がい者対策の強化が必要と思う。① (黄)自主防災組織の防災訓練と防災連絡網の整備が遅れている。	やや遅れている			・震災の記憶を風化させない。② ・日常の地域のコミュニケーションが大切。 ・障がい者の移動手段としても福祉車両(くるまイス)等の提供。	・市の防災訓練に合わせ、すべての自主防災組織が防災訓練を行うように進める。 ・市・社協・地域が一体となつての、生活弱者名簿、救出者、連絡網等の整備を図り、地域おこしを行うことが必要。	・自主防災組織間の取組み内容や活動の情報交換を進める。[市] ・地区自主防災組織ごとの生活弱者の救援体制づくり[市民]①		
		2	避難所看板の設置率	79%	79%	79%	79%	79%	100%	100%			4										
		3	★ 日ごろから災害に備えて対策を行っている人の割合	—	—	20.5%	—	45.5%	(後期計画反映)	(後期計画反映)			4										
		4	※災害時要援護者のうち地域支援者が決まっている人の割合	76.3%		76.6%	89.5%	88.6%	95.0%	95.0%	1		3										
		5	障がいの特性に対応した福祉的避難所数	0か所	0か所	0か所	0か所	3か所	3か所	3か所	3	1											
		6	※ 地域防災連絡網の整備率	16.2% [H24]	—	—	—	16.2%	100%	100%			2	2									
	04-03-02 災害に強いまちづくりの推進		1	耐震診断実施数[累計]	170	185	198	214	227	265	305	3		1		(緑)市民満足度が高まってきていることは評価できる=災害に強くなっている。 (緑)小中の耐震化率が着実に進んでいるのは◎ (緑)小中学校の耐震化が進んでいる。 (緑)耐震関心度が市民も行政も急速に高まってきた。	概ね順調	・橋やトンネルの耐震診断を表す指標も必要では？	・耐震診断の目標値→500戸		・耐震について補助金制度強化	・耐震改修が必要な数をデータとして出してほしい。その上で実施数を出す。[指標] ・橋やトンネルの耐震状況の公表[市]	
			2	耐震改修実施数[累計]	3	7	12	14	15	27	37	1		3									
			3	災害に強いまちづくりに対する市民満足度(6段階評価)	3.722	—	3.855	—	3.953	増加	増加			4									
			4	※ 小中学校の耐震化率	72.9%	94.9%	95.8%	97.4%	97.4%	96.7%	100.0%	4											
	04-03-03 消防力の充実		1	消防水利の充足率	81.7%	81.77%	82.06%	82.27%	83.93%	83.0%	83.9%	4				(青)概ね順調だが、団員確保が課題。 (青)水・人(団員)ともに充足しているのとあわせ講習受講者も目標以上である。 (緑)消防団員の確保は、地区市民の協力あつての成果と思う。 (黄)消防力の充実はハード面だけでははかれないことも多いのでは。	概ね順調	・%→人数表示にした方が分かりやすい。(消防団)①	・消防水利目標を100%に① ・講習受講者数の目標値UP。	・地域の触れ合い。コミュニケーション強化。子供と行事に参加する。 ・消防団員って、一般の人からは、どう見られているんだろう。 ・家にいる若者を地域活動に参加させるといふ市民意識の醸成。	・若い消防団員加入の取り組みを強化。 ・企業内にボランティア活動を推進する風を醸成する。③ ・公務員・団体職員の確立も必要なものはないか。 ・企業に対する協力要請も必要。	・消防団員の手当てを上げる。 ・若い消防団員加入の取り組みを強化。 ・新採用5年間は団員を義務化はどうだろうか① ・消防団のやりがい、メリットのPRを！	・団員を出している企業へのメリット制の導入。[市]①
			2	消防団員の確保率	88.3%	90.31%	90.14%	87.58%	88.12%	92.0%	100%	2		2									
			3	救急救命の講習受講者数	3,407人 (H22.3)	3,407人	3,754人	4,088人	3,952人	3,400人	3,400人	4											
	04-03-04 交通安全対策の推進		1	※ 危険箇所減少数(年間)	60箇所	50箇所	50箇所	40箇所	50箇所	50箇所	50箇所	4				(黄)意識が高い人は教室にも参加するし事故も起きにくい。意識が低い市民へのアプローチが必要。 (黄)啓蒙活動の機会を増やし意識向上を図るべき。 (赤)飲酒運転を根絶できないのは残念でもっと意識すべきことだ。 (赤)交通事故について更なる予防対策が必要。飲酒運転は0が目標であるべき。	遅れている		・飲酒運転検挙者の目標0人。① ・交通安全教室参加の目標20,000人以上	・人口減・車両減の方向から目標値は減らしていくべき。	・交通教室参加者のリピーター以外の人にアプローチしないと、参加者は増えないし、事故も減らない。 ・防犯隊・交通指導隊を1つにし少数精鋭で安全活動する。① ・交通指導員、安全協会対策協議会、緑十字会の連携が必要と思う。	・飲酒運転をさせない企業内教育をもっと徹底する。[企業]	
			2	交通事故(人身)発生件数	370件	270件	340件	314件	275件	260件以下	255件以下	3		1									
			3	交通安全教室啓蒙活動への市民参加	12,369人	14,322人	15,994人	14,658人	14,679人	17,000人以上	17,000人以上			4									
			4	飲酒運転検挙者数	39人	23人	16人	25人	19人	16人	12人			2	2								
	04-03-05 防犯対策の推進		1	犯罪件数	872件	767件	715件	581件	659人	650件以下	580件以下	1	2	1		(緑)市民の安心感が高いが実際の犯罪をもう少し減らす必要がある。 (緑)講座と相談件数の強化が犯罪件数の抑制効果あり。 (緑)犯罪件数が減って、安心して暮らせると思っている人が多いのは良い。 (黄)青少年の犯罪件数が増加に転じている。	やや遅れている		・目標値の表記の仕方を変える。(数値が大きい方が良いのか小さい方が良いのか分からない) ・「〇〇件以下」等 ・犯罪件数目標を200件以下に。 ・青少年犯罪件数の目標を10件以下に。	・鍵かけ意識を高める。	・店舗のまわりのパトロール	・公的防犯カメラの設置推進していくことも必要。[市] ・絶対的人口減の地域に防犯カメラが必要。[市]	
			2	青少年の犯罪件数	55件	45件	43件	27件	42人	27件以下	21件以下			3	1								
			3	侵入窃盗における無施錠被害の割合	63.8%	59.0%	70.0%	50.7%	62.9%	55.0%	50.0%			3	1								
			4	安全に安心して暮らせると思う市民の割合	72.0%	—	76.6%	—	85.3%	80%以上	80%以上	2	2										
5			消費生活相談件数	700件	665件	509件	356件	444件	500件	400件	1		3										
6			出前講座等による啓発活動件数	29件	30件	30件	26件	31件	40件	60件	2		2										

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
5・1 快適な居住環境の形成	05-01-01 快適な住環境の整備	1	市の公共施設バリアフリー設置割合(入口用スロープ、身障者用トイレ、身障者用駐車スペースのいずれか設置)	67.9%	67.9%	72.8%	73.3%	73.6%	69.0%	70.0%	5				(緑)インフラ整備は概ね順調。(緑)全体的には目標に向かっていている印象。(緑)順調。目標に近い。(緑)概ね順調。(みちづくり支援事業等) (赤)耐震の指標の基準が低すぎる。(もっと目標値を上げるべき)	概ね順調		[No.1]目標値を80%にUPしたい。 [No.13]耐震診断の理解が少ない。2~3倍の関心と実施数がほしい。				・指標の数が多過ぎる。[指標]② ・みちづくり事業数の目標値を3倍にする。[目標値] ・[No.14]耐震改修への市民への働きかけが少ない。2・3倍の実施数がほしい。[目標値]
		2	※ し尿処理世帯数	10,070	9,340	8,700	9,589	9,345	7,940	7,470	1	2	2									
		3	※ し尿収集量	28,296kl	26,258kl	24,438kl	23,877kl	22,406kl	22,303kl	20,985kl	1	2	2									
		4	※ 墓地区画数	540	546	566	586	586	606	626	1	3										
		5	※ 犬の予防接種率	87.36%	86.2%	85.11%	84.23%	85.65%	90.0%	92.0%	1		1	2								
		6	歩道整備率	13.65%	13.79%	13.96%	14.08%	14.10%	14.10%	14.14%	2	2										
		7	みちづくり支援事業数[累計]	0	0	0	3力所	6力所	9力所	15力所	5											
		8	★ 市内の道路環境が歩きやすいと思う人の割合	—	—	58.6%	—	56.5%	(後期計画反映)	(後期計画反映)												
		9	※ 市営住宅入居率	89.8%	91.1%	92.1%	91.1%	90.1%	90.0%	90.0%	4	1										
		10	※ 住宅団地分譲率	22.86%	26.43%	27.86%	25.94%	35.94%	35.44%	41.1%	4											
		11	※ 市営住宅水洗化率	62.8%	62.8%	62.8%	65.0%	67.58%	69.5	73.6%			4									
		12	快適な居住環境の形成に対する市民満足度	3.865 [H24]	—	—	—	3.865	増加	増加												
		13	耐震診断実施数[累計]	170	185	198	214	227	265	305			3	2								
		14	耐震改修実施数[累計]	3	7	12	14	15	27	37	1			3								
05-01-02 美しい景観を守り、創り、育てる	1	養成した景観人の数[累計]	0人	80人	120人	120人	154人	160人	200人	2	3		1	(青)景観学習の目標設定に問題がある。それ以外は順調。① (青)順調。目標クリア。 (青)各指標とも数値に関しては順調と思われる。 (緑)良好(養成した人員) (緑)概ね良好。でも学習に問題あり。	順調	「快適な生活環境」という定義自体が遅れているのでは。①	[No.1][No.3][No.4]今の所、市民、地域の関心は良好。 [No.2]景観学習をもっと多くの学校へはたらきかけるべき。	・地域の努力が景観を守ることになるので、持続できるように、景観資産を取り消されないようにする。	・教育委員会と連携して北上市独自のプログラムとして、景観学習を全ての小学校のカリキュラムの中に盛り込めないか？	・景観学習教育の早急な実施、充実(市民意識の向上を図る)[市]②		
		2	景観学習教育を実施した割合(市内中小学校)[累計]	0%[H21.3]	11.0%	14.8%	14.8%	23.0%	70.0%	100.0%			5									
		3	きたかみ景観資産の認定数[累計]	0[H21.3]	52	75	84	91	80	100	5											
		4	届け出される行為が基準に合致している割合	22から実施	—	100%	100%	100%	100%	100%	5											
		5	★ 将来残したい魅力ある景観があると思う人の割合	—	—	78.7%	—	77.5%	(後期計画反映)	(後期計画反映)												
05-01-03 緑のまちづくりの推進	1	※ 花いっぱいコンクール参加団体数	70団体	80団体	75団体	71団体	73団体	70団体	70団体	5				(青)目標に近く順調。 (青)公園面積は増えないと思う。 (緑)概ね良好。ただし公園が地域により少ない。 (緑)概ね良好。(参加団体数) (黄)都市公園面積の数値目標達成は厳しいかも。	概ね順調		[No.1]参加団体数をUPさせる。目標100団体		・予算不足のため、花苗要求数の70%しか配布されていない。 80%~90%にしてほしい。	・花苗配付に宿根草も入れる(毎年同じ花が現状)[市]③		
		2	※ 花苗配布団体数	228団体	223団体	223団体	226団体	227団体	230団体	250団体	2	3										
		3	市民一人当たりの都市公園面積	13.12㎡	13.13㎡	13.20㎡	13.48㎡	13.31㎡	15.20㎡	15.51㎡	1	4										
		4	緑地の確保目標量	35,667ha	35,672ha	35,679ha	35,682ha	35,681ha	35,686ha	35,700ha	4	1										

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
暮らしを支える上下水道の充実	05-02-01 安全・安心な給水の確保	1	給水管の事故割合	5.8%	5.5%	4.19%	5.57%	4.8%	2.9%	2.0%		1	2	2	(青)市で整備できるところは達成できている。 (青)ほとんどが目標値に達している。事故について材質等の見直しが必要。 (青)目標通りにほとんど整備されている感じを受ける。 (緑)水道管の事故防止を。 (黄)合併浄化槽の普及率の数値が低い。	概ね順調	・似たような指標だらけなので、基本的、基幹的な指標2~3つにまとめる。					・水道が広域化となるが、今まで通りの水質確保をしてほしい。 ・補助金制度の拡大[市]
		2	※ 水質に対する苦情割合	3.98%	3.30%	1.55%	1.51%	1.27%	1.40%	1.20%	3	2										
		3	汚水処理水洗化率	80.2%	81.5%	84.6%	86.4%	87.8%	84.6%	86.9%	4											
		4	汚水処理普及率	73.9%	75.4%	77.7%	78.7%	78.9%	76.2%	77.1%	4	1										
		5	合併浄化槽普及率	5.3%	6.9%	6.6%	6.6%	6.8%	7.3%	8.0%			5									
		6	※ 汚水処理接続率(世帯)	78.5%	80.3%	83.8%	85.4%	87.4%	88.4%	91.4%	5											
		7	河川・ダムの水質に係る環境基準適合率	95%	95%	95%	100%	県データ未公表	98%	100%	5											
基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
道路・情報ネットワークの充実	05-03-01 道路交通ネットワークの充実	1	市道改良率	56.9%	57.3%	57.8%	58.1%	58.2%	57.6%	57.8%	1	1	3		(黄)整備が遅れている。 (黄)市道舗装率を少しでもUPしたい。 (黄)整備の遅れ (黄)目標はクリアしているが、目標値が低すぎる。 (黄)他市との比較でも遅れている。	やや遅れている	・[No.2]現状で道路の舗装がされていない地区があるので目標値を70%には上げてほしいと思う。				・花巻市との境を見ると舗装率の差がはっきりと分かる。農道しかり。③ ・やみくもに道路開発を進めるだけではない。	・[No.1・2]みちづくり支援事業も活用し改善を図ることで、率を上げられるので、目標値も上げる。[目標値]
		2	市道舗装率	51.4%	51.7%	52.1%	52.4%	52.6%	52.0%	52.2%	3		2									
	05-03-02 道路環境の整備	1	道路管理に関する苦情等の世帯数に対する件数割合	1.3%	1.25%	1.19%	1.23%	1.13%	1.1%	1.0%	3		1		(青)雪が多い割には良い数字だと思う。 (緑)苦情の相手方が固定されているのでは。 (黄)パーセントは低いが世帯数から判断すると件数としてはある方と思う。 (黄)苦情の地域が偏っていないのか。 (黄)舗装・除雪に関する苦情多い。	やや遅れている	・[No.2]H25年の除雪件数をみると、作業性が改善されているので、苦情件数割合も減少だろう。	・除雪ボランティアへの積極参加①	・運転者により除雪にバラつきがある。技能UPしてほしい。②	・除雪回数が少ない。10cmを超えてもすぐ払わない。 ・除雪基準(積雪中)が実現していない(朝だけでは無理)① ・日陰等の除雪をまめにしてほしい。 ・前年の除雪実績で委託企業を選んでほしい。ただ道路を走行している企業もある。①	・道路管理(除雪)しやすい融雪溝などの設置[市]	
		2	道路除雪に関する苦情等の世帯数に対する件数割合	1.50%	1.57%	4.44%	1.60%	2.23%	1.3%	1.2%	1		3	1								
05-03-03 情報格差の解消	高度情報サービス整備率(モバイル)	1	高度情報サービス整備率(モバイル)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	89.6%	99.9%	100.0%		2	2		(青)ほぼ繋がると思う。OK。 (緑)問題なさそう。 (緑)まずは順調。 (緑)順調に行っていると思う。 (黄)問題ないと思う。	概ね順調						
		2	高度情報サービス整備率(BBゼロ地域)	98.6%	98.66%	99.78%	99.78%	99.78%	99.9%	100.0%	1		3	1								
05-03-04 情報通信技術の活用	※ 行政手続きのオンライン化推進状況	1	行政手続きのオンライン化推進状況	1% (2,859件/498,832件)	10% (1,865件/19,622件)	15.3% (5,164件/33,688件)	31.2% (37,200件/119,216件)	30.7% (37,385件/121,780件)	40% (52,800件/132,000件)	45% (60,750件/135,000件)		1	2	2	(黄)問題ないと思う。 (黄)類似団体(例:盛岡、花巻、奥州)の参考として数値がほしい。 (黄)さらなるインフラが求められる。 (赤)非常に遅れている印象。早い改善が必要。	やや遅れている						・電子入札システムの早期実現[市]①

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項
5・4 みんなで 支える公共 交通体系の 構築	05-04-01 地域の実情 に応じた公 共交通体系 の構築	1	※ 路線バス1日あ たり利用者数	2,665人 [H19]	2,374人 [H20年 度]	2,268人 [H21年 度]	2,027人 [H22年 度]	1,863人 [H23年 度]	2,798人	2,931人			1	4	(黄)公共交通は稼働率を上げ たい。 (黄)公共交通の見直しが必要 (稼働率)。 (黄)民間企業との用達が ありやむを得ない面も。 (黄)高齢者に対する無料化を 図る。 (赤)高齢者に対する考 えが必要。	やや遅れ ている	・路線バスの指標は 5-4-2の指標だと思 う。ここでは体系が構 築されているかとい う指標が必要。	・[No.1~3]自家用車 の動きや経済的にも 見ると、利用者、路線 数、市民の割合の数 値をUPする。 ・[No.3]H25:55%→ 60%、H27:70%→ 75%	・公共交通の利用に ついて啓発が必要。	・企業も公共交通利 用者に利点を与え、 公共交通利用者の増 加を図る。	・公共交通を利用した 機会(人数)が多い企 業に補助を出す。① ・バスの拡充よりコス トパフォーマンスを考 え、タクシーの助成を 併用すべき。 ・既存の公共交通に とらわれない、次世代 モビリティの活用 の可能性も将来像として 検討してはどうか。低 炭素まちづくりの視 点は、これから重要と なる。 ・もう少し補助があ れば(高齢者無料化 等)。	・高齢者対策と学生 利用促進(免許を持 っていない人)[市]
		2	※ 地域住民を支 える支線交通の路線 数	0		1	2	6	6	6	3	1										
		3	地区の環境で、公 共交通が利用しやす いと思う市民の割合	43.2%	—	48.5%	—	49.1%	55.0%	70.0%			2	3								
	05-04-02 公共交通の 利用促進	1	北上駅1日あたり 利用者数	3,730人 [H19]	3,678人 [H20年 度]	3,445人 [H21年 度]	3,467人 [H22年 度]	3,557人 [H23年 度]	3,916人	4,103人			2	2	(黄)やむをえない現象 と思う。 (黄)社会的要因で ありやむをえない。 (黄)効率化は大切。 (赤)どうしても車 社会の為の現象？ (赤)路線バスの利 用者数の目標達成 には何らかの手段 が必要！	やや遅れ ている	・路線バス利用者 数の目標値UP。	・[No.2]市民の意 識改革→マイカー より、みんなで公 共交通バスの利用 を。①	・小型のバスも需 要に応じて必要で はないか。① ・通勤時間帯に 沿った便があれば、 もっと使用するの ではないか。	・公共交通政策の中 だけで考えるのは なく、福祉や環境、 都市計画の視点を持 って施策立案する べき。①	・高齢者対策と学 生利用促進(免許 を持っていない人) [市]	
		2	路線バス1日あ たり利用者数	2,665人 [H19]	2,374人 [H20年 度]	2,268人 [H21年 度]	2,027人 [H22年 度]	1,863人 [H23年 度]	2,798人	2,931人			1	4								
	基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善
5・5 総合的 ・計画的 な土地 利用	05-05-01 質的向上を 目指した土 地利用の推 進	1	市の土地利用制限 について「現状程 度の制限で十分」と 考える人の割合	52.0%	—	58.5%	—	74.0	60.0%	75.0%	5		1		(青)[No.1]H24の74% は高割合と思われ るが、中間60%、 最終75%で良しか。 (青)目標値に対し、 H24は達成してい る。 (青)制限はゆるやか にする方が発展す る。 (青)北東北で一番 住みやすいまちと して評価されている。	順調	・[No.1]意味も現 実有効性もよく分 からない。もっと 明確な指標を。 ・市街化区域をむ やみに広げないとい う指標①	・[No.1]目標値を 80%にUP。	・誘致企業が多い 故に、市長と市民 の融合を図る企業 を大いに考え交流 する。	・企業の方も、工 場周辺の地域の人 達の交流の機会を つくり(共同作業 等)、交流を図る。 ・北上市を代表す るお土産の開発。	・土地利用は制限 すべきでない。民 間に任すべし。(利 用価値は民間で判 断)② ・環境の持続性、 後代への継承に必 要な土地利用の一 定制限はすべき。 ・中心市街地の性 格不明(中心地は住 宅地に)アジサイ 型地域バランスが 必要。③ ・市は開発行為に あまり手を出さな い。民間に任せる べき。	・農地転用を制限 するか制限しない かの方針をはっき りさせる。 [市]
		2	農業振興地域の面 積(農用地区域/農 振白地区域)	8,301ha 14,603ha	8,141ha 14,763ha	8,141ha 14,763ha	8,143ha 14,712ha	8,142ha 14,713ha	8,300ha 14,600ha	8,300ha 14,600ha			2	4								
		3	これからも北上市 に住み続けたいと思 う人の割合	87.2%	—	89.0%	—	89.6%	88.5%	90.0%	2	3										
		4	居住地区から中心 市街地や病院などの 公共施設に行きやす いと思う割合	—	—	67.8%	—	62.9%	(後期計 画反映)	(後期計 画反映)			1	2								

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項			
6・1 市民主体によるまちづくりの推進	06-01-01 市民の参画と協働によるまちづくりの推進	1	市民活動情報センター事業利用者数	1,183人	1,067人	1,386人	1,618人	520人	1,260人	1,320人				6	(緑)[No.4]1/3の市民参加は概ね順調 (赤)数値だけだと評価下げざるを得ない。指標は妥当か。 (赤)数値上の判断では「遅れている」と評価せざるえない。 (赤)市民活動情報センターの利用者が減っている。他はなかなか増加していない。 (赤)利用者数や参加者数ではなく、参加することができる機会(講座やボランティア活動)を捉えるべき。 (赤)地区による差も考慮すべき。市街地vs周辺	遅れている			・[No.1]の指標の他に、別の視点から、HPアクセス数の指標があればよいと思う。 ・[No.1]センターへの相談件数の指標 ・[No.1]利用者が減ったのは活動の内容が変化したためだと思うので、現実に対応する指標に変えたい。 ・[No.4]地域活動とボランティアを別々の指標にする。 ・[No.4]ボランティアセンター、学校などの活動もすべてカウントする。			・奉仕活動の意識を理解している人が少ないのでは。		・参加したい理由を本当にわかっているのか。	・[No.1]利用者数の測定基準を、来所者数だけでなく、ホームページ閲覧数や電話による問合せ数も加えたらどうか。[指標]
		2	(参考)市民と行政の協働体制づくりに対する市民満足度(6段階評価)	3.655	-	3.669	-	-	増加	増加															
		3	市民主体によるまちづくりの推進に対する市民満足度	3.827 [H24]	-	-	-	3.827	増加	増加															
		4	★ 地域活動やボランティア活動などに参加している市民の割合	-	-	32.2%	-	33.1%	(後期計画反映)	(後期計画反映)			3	3											
	06-01-02 男女共同参画社会の実現	1	「男性は仕事、女性は家庭」に同感しない人の割合	47.8% (H17)	-	48.3% (H22.6)	-	63.0% (市民意識調査)	51.0%	55.0%	3	1	1	1	(青)意識改革には効果があった。 (黄)男女別の意識確認も必要では？ (黄)意識は高いが実績は低いと感じる。ex.委員数増えてない。 (黄)ものによる。PTAなどはほとんど女性です。 (黄)市民個々の意識はあがっているが環境ができていない。 (赤)実態と指標数値とは、問題の核心が違っている。	やや遅れている			・女性の意識改革と男性の応援 ・地域の中で女性だけのワークショップをたくさん行う→発言力を身につける。 ・やっぱり学習の問題では。 ・区長会に女性20人くらいいてもいいのでは。		・審議会等に女性枠をつくる。 ・審議会等委員5人に1人は女性が必ず入るようにする。①	・[No.3]男性の理解がまだまだ足りない。[市民]①			
		2	審議会等における女性委員の比率	25.6%	26.8%	27.6%	27.7% [H24.4.1]	28.1% [H25.4.1]	35.0%	40.0%			1	2	3										
		3	男女が等しく社会に参加できる環境づくりの満足度(6段階評価)	3.718	-	3.756	-	3.848	増加	増加				4	2										
	06-01-03 まちづくりをリードする人材の育成	1	全国地域リーダー養成講座受講者数	-	-	-	0	1	2	4	1	1	2	3	(黄)No.2&3の2つの指標でよい。 (黄)自治協の見直し。 (黄)リーダー養成の満足度が低い。 (黄)「満足度」より参加できるチャンスや呼びかけを！ (黄)満足度で計ってもいいものか… (赤)事業、企画の中身で動いてしまうので、良い評価となりにくいのでは？	やや遅れている			・[No.1]毎年1人と目標化 ・他分野と併せて評価する。 ・地域づくり推進研修数。情報交換数。 ・景観学習参加児童数。	・[No.2]毎回全ての平均満足度を60%にする(内容、ニーズが違うので毎年変えなくてよい)。 ・[No.2]3年のうち2番目を評価する。		・リーダーをやりたい人がいない。	・地域の中で世代交流する場がない。① ・地域の優秀な人材を伸ばす。	・市民がリーダーを応援できる環境づくり(リーダーをやりたい人がいない)。 [市民]	
		2	★ 地域活動リーダー研修会参加者満足度	88.6%	85.7%	47.3%	60.0%	79.0%	(後期計画反映)	(後期計画反映)				4	2										
		3	★ 地域づくり講座参加者満足度	-	-	-	80.6%	68.6%	(後期計画反映)	(後期計画反映)				2	3										
	6・2 魅力ある	06-02-01 地域の自主的な活動の推進	1	市内16自治組織が行うきらめく地域づくり交付金事業の延べ活動者数	5,471人	5,901人	4,773人	3,425人	3,971人	6,000人	6,500人		2	1	3	(黄)進捗率の算出方法変更：着手、進行率、完了、事業の精査 (黄)魅力あるまたは参加したくなる事業が企画できるか？地域計画は現実的、実現可能だったか。 (黄)地域全員の声になっているか？ (黄)地域の住民が皆関わっているか？ (黄)利用者数と事業内容の質の変化が不明。 (黄)数字と背景を併せて評価したいところ。	やや遅れている			・行事をやっても参加する人が同じ。② ・地域行事等へ参加していない住民に楽しさを伝える。	・昔のように盆踊りなどに参加しなくなった。①	・地域活動に職員も参加する。 ・地域づくりなどの情報提供をする。	・イベント開催前にその魅力を存分にPRし、終了後にもその様子をお知らせする[市民]①		
			2	地域が主体となつて行う分の地域計画の進捗率	-	-	-	16	19	30%	70%				5	1									
3			交流センター年間利用者数	263,908人	270,508人	237,482人	209,607人	209,859人	264,000人	264,000人			1	5											

地域づくりの推進	06-02-02 地域が連携し共生するまちづくりの推進	1	※ 地域景観資産認定数	0[H21.3]	52	75	84	91	80	100	5	1			(青)地域の誇りを外に発信する雰囲気醸成されはじめています。 (青)先ず地域を見つめ、自信が湧いているのです。 (緑)地域の“誇り”を見直す、発信する活動が必要。 (赤)地域の宝が育っているのに都市部とのつながりが伸びず減っている。 (赤)農業体験参加者を増やす仕掛けが必要。このままでは人づくりの街は活性化しない。 (赤)考え方が農業だけ？たとえば読書会でもいいと思う。	やや遅れている	・[No.3]メニューの数。メニューのある地域の数。 ・産直活動と交流体験できるような指標がほしい。 ・産直の利用者数。	・交流センター事業のメニューを増やしてほしい。 ・農村と都市との交流事業の機会を増やす。	・農業体験参加者数が増えるよう、もっとテコ入れすべき。 ・地域のよさ、産物のPRも強化する。① ・農業体験については、手を広げすぎ。 ・時代に合った取り組み。	・[No.4]この指標はいいらない。[指標] ・全国誌で取り上げられた回数[指標] ・市外から買い物に来た客数[指標] ・県外ナンバーの車[指標]		
		2	地域や市民主体で農業の体験学習やグリーンツーリズムに取り組んだ数	-	-	-	-	-	(後期計画反映)	(後期計画反映)												
		3	農業体験参加者数	135人	81人	44人	28人	24人	120人	120人			6									
		4	中山間地域交流取組組織数	3組織	4組織	4組織	4組織	4組織	5組織	6組織	6											
		5	交流センター年間利用者数	263,908人	270,508人	237,482人	209,607人	209,859人	264,000人	264,000人			5	1								
基本施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の取り組み改善	企業の取り組み改善	市の取り組み改善	最優先事項
6・3 市民・企業と行政の協働	06-03-01 協働の定着と拡充	1	市が行っている協働事業一覧に掲載されている活動の数	26件	35件	51件	51件	49件	27件	29件	5				(青)定着してきている。安定の◎ (青)企業の取組効果あり。 (青)企業のパワーをもっと引き出す(活かす)ことがよりいい方向に！ (青)企業の協働実数が数値の上では定着している。 (緑)PR次第。 (緑)交流センターの利用状況も上がればもっとよい。	順調	・企業の地域貢献活動について、もっと情報があるはず、出せるはず。	・企業側から地元の地域に「何かしたい」と直接声かけてもいいのではないか。①	・成果をもっとPRしていく。[市]			
		2	地域貢献活動企業褒賞への情報提供事業数	167件 [H20.8]	295件 [H21.8]	295件 [H22.8]	279件 [H23.12]	270件 [H24.12]	300件	300件	3	2	1									
		3	市民活動情報センターが仲介した協働事業マッチング件数	13件	19件	18件	22件	18件	15件	15件	2	4										
基本施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の取り組み改善	企業の取り組み改善	市の取り組み改善	最優先事項
6・4 信頼ある開かれた行政の推進	06-04-01 情報公開の推進	1	ホームページへのアクセス件数	291,677	638,867	728,170	732,994	771,247	720,000	760,000	5	1			(青)公開の方針浸透。 (青)ホームページがよくなって情報も伝わりやすくなった。 (青)情報公開はしていると思う。 (青)他市に比べHPが見やすい。 (緑)情報が分かりやすく提供されている。	やや遅れている	・[No.2・3]言葉の意味がわからない。③	・[No.3]期待していない。満足している人が少ない。市の行事参加者が少ない。	・[No.3]市は信頼されているのか？→地域説明会の参加者が少ない。①	・[No.3]指標自体の意味が分かりにくい(信頼あるとは？)[指標]①		
		2	透明性の高い行政情報の提供に対する市民満足度(6段階評価)	3.518	-	3.604	-	-	増加	増加			1	4								
		3	信頼ある開かれた行政の推進に対する市民満足度	3.892 [H24]	-	-	-	3.892	増加	増加												
	06-04-02 広聴活動の充実	1	市政座談会の参加者数(世帯数のうちの割合)	6.2%	7.2%	5.5%	6.0%	4.8%	6.5%	6.7%	1		5		(青)よりオープンに。 (黄)指標の項目が少ない気がする。 (黄)テーマによる。 (黄)参加者が増えるための仕掛けが必要。 (赤)もっと出来るはず。	やや遅れている	・10人に1人は市政座談会に関心を持って欲しい。 ・地区毎に目標数を設定して、その目標に対して何%以上又は達成した地区を指標にする。	・市政座談会参加者数の目標を10%に。	・市職員ももっと参加を。① ・市職員も積極的に参加すべき。② ・もっと問題にすべき。① ・事前に誰が来るのか、何を話すのか、PRしていく。	・市政座談会に参加しやすい雰囲気づくり[市] ・事前にアンケートを取り、その質問に答えてもらうと参加しやすくするのは。[市]		
		2	信頼ある開かれた行政の推進に対する市民満足度	3.892 [H24]	-	-	-	3.892	増加	増加												
	06-04-03 行政評価の推進による情報共有	1	評価結果公表ホームページ閲覧件数	629件 [H22.3]	629件	472件	1,047件	1,929件	700件	800件	3	2	1		(青)広く多くの目に市の取組がさらされている。 (青)頑張っている。これから成果が出る。 (青)第三者見識者の選択をより明確に。 (青)数値の上ではとても伸びている。 (緑)やっとな！これからのね！！	順調	・この指標だけで十分か？	・新しい参加者の掘り起こし。(年代、性別等も考慮)	・参加する人のモチベーションを上げる。[市]			
2		※ 市民参加型評価の延べ参加者数[累計]	123人 [H24]	-	-	-	123人	240人	480人			3	1									
3		※ 外部評価の実施策割合(基本施策単位)[累計]	7.7% [H23]	-	-	7.7%	19.2%	30.8%	53.8%	2	3	1										

基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項				
6・5 効果的な行政運営と 強固な財政基盤の構築	06-05-01 効果的かつ効率的な行政経営の推進	1	庁内の人材を活用した研修の実施回数	185 [H22.3]	185	134	213	212	231	278	2	4			(青)少ないマンパワーで成果を上げている。 (緑)職員の向上意欲を推進する市民支援が必要。 (緑)コンプライアンスが少し心配。 (緑)少ない職員でよく運営していると思う。 (黄)改善運動や研修を多くやっても、余計に効率が悪いのでは？	概ね順調						・指定管理施設数。もしくは利用者満足度。 ① ・[No.4]別の手段はないか。 ・PFIの取組。			・広報で行政サービス改善のアイデアを取り上げてはどうか。① ・広報で市民の意見を載せていいのでは。①	・子供、高齢者、震災など対象者職員を増やすべき。②
		2	住民千人当たり職員数(普通会計)	6.09人	6.13人	6.11人	6.07人	6.15人	6.00未満	6.00未満	2	1	1													
		3	業務改善改革運動参加率(職場)[単年度]	67.6%	57.4%	40.7%	79.7%	65.1%	80.0%	100.0%	4	2														
		4	(参考)行政サービスの改善に対する市民満足度(6段階評価)	3.475	—	3.516	—	—	増加	増加																
		5	効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築に対する市民満足度(6段階評価)	3.842 [H24]	—	—	—	3.842	増加	増加	3	2														
		6	一般競争入札導入率(条件付)	0.0%	2.0%	21.5%	29.1%	39.9%	65.0%	100.0%	3	3														
	06-05-02 財政健全化の推進	1	将来負担比率	206.2%	189.6%	157.5%	159.2%	136.1%	180.0%	160.0%	1	3	1		(青)健全化の方向に進んでいる。 (青)健全化の努力評価。健全化と躍進力は背反か？ (青)借金が減っていることがまず良いのでは。 (青)負担が軽くなっているのよい。	順調						・指標の意味がよく分からないので、指標を分かりやすくする。 [指標]①				
		2	実質赤字比率	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	5															
		3	連結実質赤字比率	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	0%以下	5															
	06-05-03 公営企業の効率的運営の推進	1	水道事業会計経常収支比率	111.0%	108.1%	108.8%	107.3%	108.0%	110.0%	110.0%	4	2			(青)余資運用に留意すべきではあるが、努力効果順調。 (緑)つないでいる率、上水=100%、下水=? (緑)水道はとても黒字。下水はキチキチ。一緒に協力できていればなお良いのでは？ (黄)下水ももっとプラスに。 (黄)下水道も100越えが望ましいのでは？	概ね順調			・水道事業は黒字となれば料金を下げるべきだから指標が違う。 ① ・[No.2]地域によってやってないところがあり不公平。	・下水道健全化のためにもぜひつないでいただきたい。	・下水道事業会計も100%に。[目標値]①					
		2	下水道事業会計経常収支比率	81.9%	103.3%	99.6%	90.1%	99.3%	92.5%	95.4%	3	2	1													
	06-05-04 安定した財政基盤の確立	1	自主財源比率	56.8%	49.9%	36.1%	45.7%	48.7%	57.0%	57.5%	4	1			(青)目標指標に問題あり。努力、大とする。 (緑)どうにもしがたい部分もあるが借金はもっと減らしたい。 (緑)こればかりは時代の情勢に影響されてしまうのでは。 (緑)先の見通しがつきはじめたということかな？	概ね順調					・実質公債費比率が上昇しているので注意！① ・新たな事業をはじめの際に、指標など財政への負荷も示すべき。	・[No.3]17%位にして締め付ける。[目標値]				
		2	経常収支比率	86.3%	82.9%	79.6%	84.5%	83.5%	83.0%	80.0%	1	3	1													
		3	実質公債費比率	14.7%	12.7%	12.5%	14.3%	15.9%	18.0%未満	18.0%未満	1	2	2													
	基本 施策	施策	No.	指標名	H20 [基準]	H21	H22	H23	H24	中間 (H25)	最終 (H27)	青	緑	黄	赤	施策評価理由	最終評価	指標を変える	目標値再設定	市民の 取り組み改善	企業の 取り組み改善	市の 取り組み改善	最優先 事項			
	6・6 広域行政の推進	06-06-01 広域行政の推進	1	近隣自治体と連携した効果的かつ効率的行政運営	一部事務組合等による広域行政の取り組み	—	—	—	—	各種協議会等を通じた地域連携のありかたの検証	新たな仕組みの構築		4			・(緑)行動は行われている。(ネットワーク化) ・(緑)提言も順調に行われているのでよい。 ・(緑)実際に生活が便利になっている感がある。 ・(緑)具体的な動きが出てきている。	概ね順調			・広域で実施できたらいいなと思ったこと、アイデアを市役所にどんどん言う。		・近隣自治体と連携した方が効率的になることもある。知恵を出し合う。[市] ・市町村間でしっかりやろう。[市]				
			2	※ 市長会等への提言数	4		4	6	8	8	8	1	4													